

# SID [001]

SOCIAL  
INNOVATION  
DIALOGUE  
[001]

REPORT

10.07.2009 @CINAGRO



Theme: 対話の場とは何か？  
対話の場から生まれるもの

Story: Dialogue Bar 代表 西村勇也

[001]終了後、参加者のみなさんからたくさんのフィードバックを頂きました。

あの場にいた人があの場で、そしてその後、何を感じたのか。それらを共有することで、さらに意味が共有されたり、新しい意味が創られるのではないかと思います。

“対話は社会のいろいろな問題を  
解決するインフラ”

Yuya Nishimura

知人から話を聞いて参加を決めたものの、いまひとつ、内容がわからないまま参加しました。

グループに分かれての時間は、そういうわけで、ちょっと心配しながらのスタートでしたが、知人も一緒にテーブルで、吉村さんも来てくださって、とても率直な対話についての対話ができ、大変有意義な時間でした。一番、印象に残ったのは、会社や国で重大なことが、対話ではないやり取りの中で決められそれがあたたかも答えかのように実行されていき、動いていくということ、そして、吉村さ

んが「だから、私はこういうことをしたいと思ったのです。」という言葉でした人が人としてつながって、世の中が、国が、世界が動いていくそんな当たり前のことが、実現するように何かをしたいと私も思います。

基本的に大勢の初対面の方々とお話をする事がとても苦手なので、これはまいったな、というのが第一印象でした。しかし、とても寛いだ雰囲気のお陰で妙な緊張も解けました。ワールドカフェは予想以上の面白さでびっくり。

同じテーマを前向きに、皆で紡ごうという意識のもと話していくと、こんなに触れ合うものが生まれるんだなと感じました。対話という言葉の認識が改まった途端に、普段ちっとも対話ができな

ワールドカフェ：  
探求のテーマ

- 1 対話って何なんでしょう？
- 2 日常に対話があると、そこから何が生まれるのでしょうか？

い、と自分の中で腹立たしく思っていた相手に対して、実は自分が心を閉ざしているからだ、と思えました。ありがとうございます。

我々営業の世界でも、営業とお客様という役割に捉われず説明ではなく会話でもなく、お客様と対話ができる者が真の営業なんだろうね。そうしたいですね。

山下さん.生命保険会社マネージャー

「わたし」にとっての

## 「対話」

心を開く みみをすます  
ジャッジしない 主客の関係性から逃れる  
行為に溶ける  
創作における対話的側面と到達的側面  
そして 毎日のこと

対話  
相手を感ずる  
自分自身を感ずる  
味わうこと

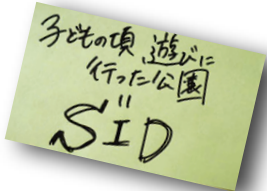
## 対話って何だろう？

「対話」っていうのは、その瞬間での100%の自分をしっかりと出すことからはじまっていくことなんだなと思う。

話を聞きたいときは聞きたい自分の100%。話したいときは、話したい自分の100%。場の空気を楽しみたいときは、場の空気を楽しむ自分の100%。

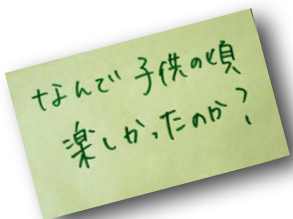
決して結論を焦らず、無理に場を盛り上げようともせず、出来るだけ、自分の感じていることをそのまま表現する場。それが対話をするためのはじめの一歩なんだなと、ぼんやりと思った。

当日、僕が強く思ったのは「子どもの頃、公園で遊んだときの感覚」でした。それについては「感覚」なのでうまく言葉にはできないのですが、例えば、知らない子がいても遊んでるうちに、すごく仲間意識が芽生えちゃう感覚。



遊びと遊びをうまくかけあわせて、新しい遊びを作っちゃうときの感覚。夕暮れどきに、「まだ帰りたくないな〜。残っていれば何かまだあるんじゃないかな〜。」となかなか帰る気持ちになれない感覚。とかとか…。

多分、今の会社の目の前が小学校で、子供達が隣の公園で遊んでるのをよく目にしているのも関係してるかもしれませんが。大雑把にいうと「みんながそれぞれの個性を發揮して、楽しめる場所」っていうのを僕も作っていきいたいな〜と強く思いました。



SID後、「対話」について気がついたので、人との対話、自分との対話、以外にも、「本」との対話、「モノ」との対話もあるなあ、と。

タイムラグがあるからメールは「対話」ではない、と定義していた参加者の方もいましたが、「対話」は時空間を超える（「時をかける少女」みたいになっていますが）ものではないかという思いにいたりしました。



初めての参加だったので、ちょっと勝手がわからず対話テーブルの1と2くらいまでは、やはり少し緊張していたようです。「対話とはなにか」について議論ぼくなったように思います。3番目のテーブルで、ある女性が「ゆっくりしゃべるのが大事な気がする」と言われたのにハッとしました。対話って、急いで答えを出そうとせずに、まずは話すことそのものを楽しめばいいんだと気づきました。テーブルが変わるごとに気持が変化することがおもしろかったです。

ワールドカフェという方法は、とてもいいなと思いました。普通の会議や研究会（大学も含む）では知識豊富な人や、声のでかい人がイニシアティブを取りがちでしょう？でも小人数のテーブルは自然と互いを尊重するムードが生まれやすく、話しやすいと感じました。

ファシリテーターのお二人はどうするのだろうと思っていたら、それぞれテーブルに入られたので、それも、講師とお客にならずに場所とテーマを共有できていい感じでした。

## SIDに参加して

私の関心あるテーマは、ソーシャルイノベーション、ダイアログ、組織の精神性の向上、コアクティブコーチング、子どもの教育に興味があるので、SID（ソーシャルイノベーションダイアログ）と聞いて、迷わず参加させていただきました。

ワールドカフェは初めての体験で、限られた時間でいろいろな方の感じ方、考え方に多くの接することができておもしろかったです。

「対話とは何か」というテーマは、個人的には自分の人生の中での「対話」の重要性、人とのような関係性を作ってゆくかの意義について改めて再認識する良い機会でした。あまり経験されたことがない方には、共感できない間違ったかもしれません。

各テーブルにイキイキとしたレベルのダイアログを成立させるには、経験豊富なファシリテーターや、質の高い対話をしたことのある経験者の割合が多くなるとなかなか、イキイキワクワクするダイアログには行かないだろうなと思いました。

だからこそ、回数を重ね、経験者が増えることで、全体が相乗効果ですばらしくなってくるのだと思います。またぜひ参加させていただきます！

PS 時間切れで、みなさんの気づき、学びを全体共有する時間がなくて残念でした。

## 対話は「寄せ鍋」説

「ワールドカフェ??？」てなまま、参加して、着いてから、一抹の不安や疑念が。。。しかし、そんなものが消え去るまでに、全く時間は要しませんでした。

なんと安易な。  
心地よい高揚感。

### 「寄せ鍋」

これがもっとも腑に落ちたワードでしたね。この言葉は、きっと一生心に残るでしょう。「対話」に対する意識が変わった、と同時に、「寄せ鍋」に対する意識も変えてしまったんですから。(笑)

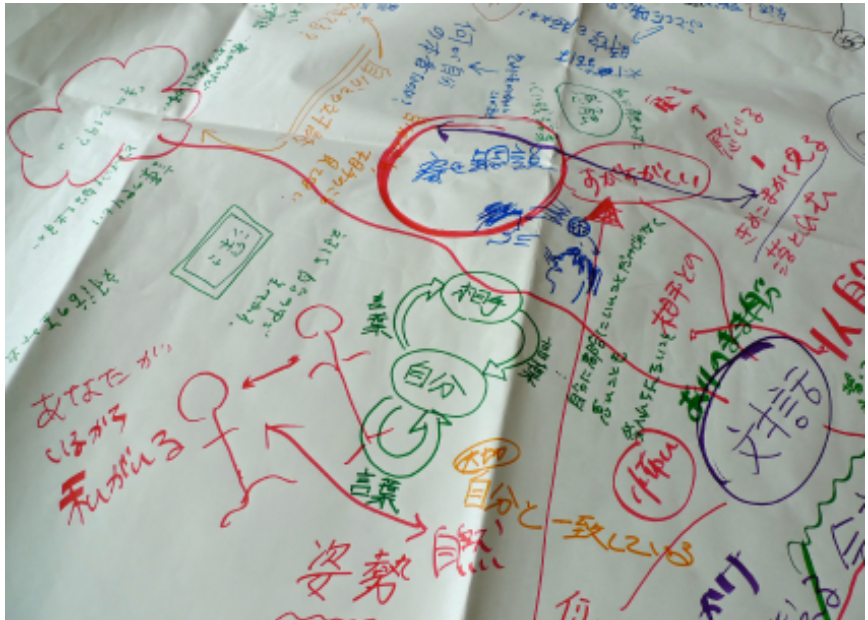


西村さんの話が始まって、何となくの趣旨を把握し始めました。(遅っ!)ここでいう「対話」というものを、頭では納得しつつも、「このように予め用意された場や、定められた手法の中で、果たして、本当に「対話」できるのだろうか。自然発生的な「対話」でなく、準備された「対話」は、生きた「対話」になるのだろうか。(何か「対話」を意識した「対話」になるんじゃないか??)」というのが、ボクが最初にもった「疑念」かなあ。

だけど、ほんとに、そんなものは、ごくごく短時間で消え去っていた、というか、そんな疑念があったことすら、あっという間に忘れていたよ。不思議。

「心が、出入りが自由な状態に開いている。」

それが、「対話」中の印象。



もちろん、あの場にいた人達は、心を「開く」準備の出来ている人達であったから、ボクもそうなれたのかもしれないけれどね。日々の生活の中でも、その状態を保って人と関わることが出来たら、どんなによいことだろう。と、今、本気でそう思う。

### ——「寄せ鍋」

この言葉と出会ったのは、2つめのテーブルでした。(この時のメンバーの誰かが、一つ目のテーブルで耳にしたワードだったみたい。)この言葉で、一気に盛り上がったんだよ〜。



(以下、そのテーブルの流れ〜)

「対話」=「寄せ鍋」

石狩鍋や、チゲ鍋などなどのように、目指すべき味を持たない。誰からどんな具材がでてくるかわからない。

しかし、それじゃあ、めちゃくちゃ不味くなる可能性だってあるじゃない!?まてよ?

「寄せ鍋」の楽しみは、結果である「味」にあるんじゃない!寄せ合う「出来事」としての過程にあるんだよ〜。

「寄せ鍋」っていい鍋だねえ。お好み焼きとかもそうだけど、鍋を囲んで、いっしょに作ってるのって、なんか高揚感あるよね〜。「寄せ鍋」やりたくなってきちゃったねえ。と鍋談義。

おっと、「対話」の話だった。って、これ全部、「鍋」を「対話」に置き換えられちゃうじゃない。。。何をもち込むのか、個々に託されていて、何をもち込まれても受け入れて、刻々と生まれてくる変化を楽しむ。行き先などは気にせずに。決まっているのは、湯の沸いた鍋があること。

テーブルは、鍋。  
言葉は、寄せ合う具。  
みなでつづく。

というか、自分たちも、体ごと、どっぷりと鍋に浸かって、茹でられてる。ああ心地よい。そんなかんじ。

(言い直し。)

「テーブルが、鍋。  
具は、人間。」の方がしっくりくるか〜。

## SIDで過ごした時間

今回も楽しくてあっという間の時間でした。私の中に何となく漂っているけれど、まだ言葉にならない思いを誰かが言葉にしてくれると、

「そうそう、それ!!」っと、嬉しくなりますね。今回は、そんな嬉しい瞬間が沢山ありました。

また次回も楽しみにしております。



貴重な体験の場をいただき、ありがとうございました。

ダイアログやワールドカフェという手法は、よく考えられた面白い手法です。手法ですから、使ってナンボ。よく知らない者同士、なかなかコミュニケーションが深まらない者同士が使うのに良いのかな、と感じました。

ただ、誰でもできる手法ではない、とも感じました。会に参加している人は、そもそもコミュニケーション能力がある一定レベル以上の人たちばかりです。だから、うまくいく。

講師への質問にも出てましたが、ネガティブな人やあまり話したくない人たちが多かったときには「？」がつくのかな、と感じました。世の中、困った人というのがありますからね～。まあ、そういう人たちとの経験はないので、あくまで想像ですが。



僕としては、久しぶりのワールドカフェでかなり良かったです◎

個人的には最近モンモンと悩んでいることの解決策(?)が少し見えた感じがしました。

単純に一参加者としてのワールドカフェもとても久々で、問いにかなり集中出来ました。

だからこそ、自分の今の状況とリンクさせて問いに集中出来たので、気づきを多く得られたんじゃないかと思います。

今回の問い自体は僕としては、すんなり入れました◎

問いをつくるのは難しいし、面白いですよええ。

(20代 メーカー人事)

冒頭の西村さんのパフォーマンスには脱帽ですよ。話すのは苦手なんておっしゃってますけど、人の気持を掴むのうまいなあ～。座布団3枚!

お二人のやりとりはとても分かりやすかったですし、すぐに和やかでフラットな雰囲気が出てよかったです。私はこの部分も楽しめました。

なによりはるみさん自身がわくわくしている感じが伝わって来て、Goo-!! 顔にでてる! 今後、はるみさんがどんな方をメイントークに選ばれるのかが、とても楽しみです。



SOCIAL  
INNOVATION  
DIALOGUE

Harumi Yoshimura

URL. <http://socialinnovationdialogue.jimdo.com/>  
Email. [social.innovation.dialogue@gmail.com](mailto:social.innovation.dialogue@gmail.com)